

飛騨農林事務所の普及活動状況（令和8年1月末現在）

今月の重点活動

■トマト・ほうれんそう 部会員を対象とした個別面談を実施

農業普及課は、農閑期にあたる12月～1月にかけて、JAひだの営農指導員と連携し、飛騨野菜出荷組合トマト部会員及びほうれんそう部会員を対象に個別面談を実施した。

面談では、単収や出荷量などの実績をもとに令和7年産の栽培を振り返るとともに、栽培状況や個別事情に応じて、次年度に向けた改善事項を協議した。

また、令和8年度から新たにトマトで就農する予定の研修生に対しては、就農準備の進捗を確認するとともに、計画的に作業が進められるように助言を行った。

今後は、各生産者の面談内容を踏まえ、個々の生産者に合わせた普及支援を行っていく。



【個別面談の状況】

ぎふ農畜水産物のブランド展開

■ほうれんそう JA全農岐阜のほうれんそう生産事業に係る打合せ

令和8年からほうれんそうの生産事業を開始するJA全農岐阜との打合を、1月16日にJA会館（岐阜市）で、1月26日に生産事業圃場（高山市）で行った。

打合せでは、夏場の高温対応として、農業普及課から新たな遮光資材の活用やミスト噴霧による昇温抑制技術に係る試験の実施を依頼したほか、JA全農岐阜からはバイオスティミュラント資材の試験計画の説明があった。

今後は、JA全農岐阜が取り組むほうれんそう生産事業に対し、栽培技術や技術実証の両面から支援を行っていく。



【試験圃場の確認】